

「軍都豊橋の歴史を学ぼう」

軍都豊橋の歴史や豊橋南部に残る戦争遺跡などについて学ぼう

2月3日、2月10日、2月17日(土)3回にわたって、市民大学トラム「軍都豊橋の歴史を学ぼう」が開催されました。3週連続で行い、最終日はバスで現地見学です。講師は名古屋市見晴台考古資料館の伊藤学芸員さんです。

初日は、「戦争遺跡から見た軍都豊橋の歴史を探る」と題し、豊橋公園や陸軍墓地、愛知大学などに残る遺跡を多くの写真や資料で紹介されました。練兵場や演習場などについても、次から次へと途切れることなく盛りだくさんの内容で勉強になりました。

2日目は「豊橋南部に残る戦争遺跡を探る」と題し、伊藤先生の調査研究のもとに、様々な遺跡を写真と図により、ねらいや意図も織り込みながら説明されました。



2月17日(土)は現地見学を行いました。午後から、南部地域に残る戦争遺跡をバスで巡る工程で、大崎の弾薬庫、老津の通信施設、高塚のトーチカと砲台を見学しました。この4ヶ所で薄暗くなってきたので、予定していた飛行場跡など2か所はいけませんでしたが、こんなにしっかりと遺跡が残っているとは思いませんでした。詳しい解説付きで、みなさん得た知識もいっぱいでした。

とても勉強になりました。伊藤先生ありがとうございました。

